

様式 4

平成 2 2 年度 第 3 回学校関係者評価報告書

鳥取県立倉吉東高等学校  
 学校長 名 越 和 範

評 価 日	平成 2 3 年 3 月 1 7 日 (木)	
評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等	
<p>1. 今年度の自己評価について                      (1) 重点目標の達成状況</p> <p><b>①学校文化度の向上と地域からの信頼向上</b>                      ・倉吉東高は様々なすばらしい取り組みをし、なおかつ進学実績もあげているのに、地域からその取り組みがなかなか理解されていない。どのようにすればよいと考えているか。</p> <p>・今年から中学校に来てもらったり、「倉吉東高の考え方」というペーパーをもらったりしたが、わかりやすくてよかった。                      ・保護者には、できるだけ多くの学校行事に参加し、現場を見てもらいハートに火をつければ理解してもらえる。地域の人も同様で、風評を丸のみにしているのも目で見てもらう方策を取ってほしい。                      ・倉吉東高の取り組みを大変評価している。校内で行っているチューターを高校生が中学生に対して行う方法もある。風評や批判はアドバイスだと思って受けたらよい。                      ・重点目標の「地域からの信頼向上」の「地域」はコミュニティーと考えるのが一般的だが、特に今年は中学校や大学の係りを考えたのか。                      ・倉吉東高オーケストラ部は上灘桜祭で毎年オープニングを飾ったり、生徒会は学園祭時地域から広告をとるなど地域でも活躍している。                      ・T E A S の活動を生徒の主体的活動として地域に広げることできる。</p> <p><b>②学校教育力の向上</b>                      ・エキスパート教員は何名か。</p> <p>・来年度から東中学校と倉吉東高は「スクラム教育」として数学と英語を中心に3年間研究を行っていく。                      ・授業アンケート「魅力・意欲」項目評価について。</p> <p>・授業アンケート「質問」「発展学習」項目について。</p>	<p>・本年度はHP更新を努力した結果、過去3年間で6万だったアクセス数が今年度だけで約17万に達した。また、今年度は中学校にも出向き、3年生の先生方に説明を行う取り組みも行った。</p> <p>・今年度は管理職だけでなく、多くの教員が中学校にでかけ説明をした。学校上げてさらに努力していく。                      ・現場を見ていただいたり参加してもらう機会を考えてみる。</p> <p>・コミュニティーに向かって高校が発信するのは難しいので中学校、大学に向けて力を入れている。</p> <p>・数学1名、英語1名の2名である。来年度はさらに2名認定される。                      ・教員、生徒の交流が強くなると期待している。</p> <p>・評価A+Bとしては後期がアップしているが、Aは下がっている。評価Aにこだわり、意欲を引き出す授業を行う努力をする。                      ・この項目で問いたいのは自主性、内発性、積極性である。やらされ学習の域を越えていないので教員が火をつけていきたい。</p>	

- ・西部地区中学校では倉吉東高は入学した生徒をよく伸ばしていると評価していると聞く。
- ・倉吉東高に入ったらここまで伸ばすとアピールした方がよい。
- ・学校教育力はB評価がなされているが、Aだと思う。

### ③進路指導の充実

- ・平成25年度より専攻科廃止が決定したが、影響はあるか。
- ・10年、20年のスパンで卒業生に対して高校時代の振り返りを行ってはどうか。
- ・高校時代に踏ん張り、耐える経験を持った者が社会に出てから活躍していると考ええる。

### ④専攻科教育の充実

- ・今は大学を出ても就職難民という時代で、勉強以外のこともできなければ社会で生きないが、専攻科ではそれに気付かせることができている。
- ・倉吉東高の誇りにかけて県民から惜しまれる閉じ方をしてほしい。

### ⑤定時制教育の充実

- ・定時制の授業評価について。
- ・倉吉東高は全日制、定時制、専攻科3つあることが、相乗効果となっている。
- ・中間反省で、経過達成状況について個々の評価もあったらよいといったが、取り入れてもらってありがたい。

(2)説明・公表について

## 2. 学校運営への提言

特に無し

- ・専攻科に頼らないことを前提で行うが、難関大志望に関しては困難になるであろう。
- ・現在ある程度の追いかけを行ってはいける。10年後であれば客観的に他者との比較ができるようになるので行ってみたい。
- ・倉吉東高教育では努力すること、我慢することを行っている。卒業式前の予餞会では全校生の前で人とかかわることの大切さ、担任への感謝の気持ちなど10数名の卒業生が述べており、その成長に満足している。

- ・今年度は興味関心を高め、基礎学力をつける授業の工夫がなされており、授業評価は高い。
- ・1年生の中にはCTを目指している生徒もおり、添削指導を行っている。
- ・学校行事、生徒会活動も活発である。
- ・卒業生10名は望む進路へ進むことができた。

- ・HPで公表する。

